

## 05. わくわくロード コンセプト

地域の皆様がいきいきと、ゆるやかにつながりあいながら、自分たちが住む町に誇りや愛をもって暮らす姿。  
そんな人々の活動が道路ににじみ出し、より大きくひろがって宮代町全体にひろがっていく・・・  
地域のみなさんの暮らしやつながりがにじみだす豊かな町を、わくわくロードを通じて作っていきます。

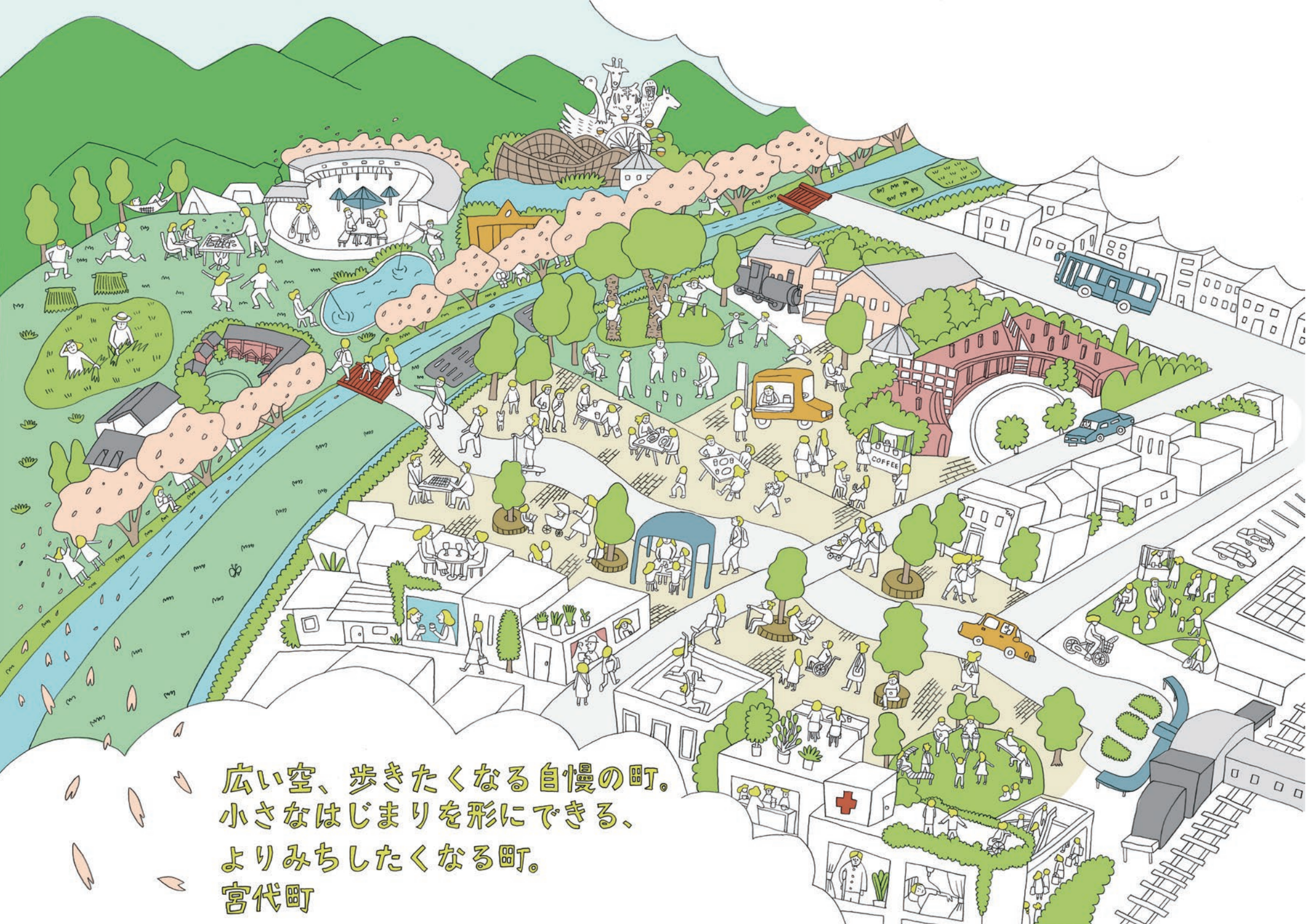
ビジョン

広い空、歩きたくなる自慢の街。  
小さなはじまりを形にできる、  
よりみちしたくなる町。宮代町

コンセプト

公園のようなコミュニティ道路





広い空、歩きたくなる自慢の町。  
小さなはじまりを形にできる、  
よりみちしたくなる町。  
宮代町



## 05-1. わくわくロードにおける2つのキーワード

地域の方の“活動・暮らし・つながり”がにじみだす道



宮代町の魅力は、自然が豊かで誇りある建物がある他に”魅力的な地域の活動”があることと考えています。道路は人や車が目的をもって移動するための大切な公共空間であると同時に、道路を通じて周辺環境や人のつながりを創り出すことのできる空間でもあります。人々の活動が道路ににじみ出すことで、宮代町の魅力が見える道路を目指します。また、様々な人が混ざりあうことができる道路にすることで人々のつながりが増え、より大きな活動を宮代町の広い範囲で巻き起こすことが可能となると考えました。

## 柔らかいカーブとあいまいな境界



車道は宮代町の風景にある柔らかいカーブを描き、歩道と広場の間には明確な境界を設けず「あいまい」にします。この考えは、宮代町のシンボルである進修館を設計した象設計集団の考えから由来します。柔らかいカーブは車の流れをゆるやかに抑えることにもつながり、あいまいな境界は人々の活動が町に広がっていく様を想像させます。これらを作り出す事で宮代町らしい風土、風景をつなげていくことができるのではないかと考えました。